

(様式2-1) 社会資本総合整備計画 事後評価書(案)

1. 整備計画														
計画の名称		静岡県における流域下水道による汚水処理の推進 第2期												
計画の期間		平成27年度 ~ 平成31年度				交付対象		静岡県						
計画の目標		県内人口の約30%を占める流域下水道計画区域の下水道整備を進めることにより、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図る。												
計画の成果目標(定量的指標)		<ul style="list-style-type: none"> 西遠流域下水道の下水道処理人口普及率を88.6% (H27当初) から90.9% (H27末) に増加 (この後、H28からは浜松市へ移管)。 狩野川流域下水道西部処理区の水処理施設整備率を75.0% (H27当初) から87.5% (H31末) に増加。 												
定量的指標の定義及び算定式		定量的指標の現況値及び目標値						備考						
		当初現況値		中間目標値		最終目標値								
		(H27当初)		(H29末)		(H31末)								
① 西遠流域下水道の下水道処理人口普及率 (%)		88.6%		90.9%		-								
② 狩野川流域下水道西部処理区の水処理施設整備率 (%)		75.0%		75.0%		87.5%								
③														
全体事業費		合計 (A+B+C) 3,460 百万円		A 3,460 百万円		B 0 百万円		C 0 百万円		効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0%		
事業種別		要素となる事業名 (事業箇所)			事業内容 (延長・面積等)			市町名		全体事業費 (百万円)		備考		
下水道		水処理施設整備			水処理設備工事N=1式、放流管渠工事L=2,100m			沼津市他		2,910				
事業数		管渠整備			馬込幹線管渠工事L=366m			浜松市		244				
5		調査・検討			効率的な下水道計画検討等N=1式			沼津市他		136				
2. 事業の進捗状況 (○: 計画期間中に完成 △: 計画期間終了後に完成見込 -: その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等)) (計画期間中に他の整備計画に移行したもので、●: 本計画の期間中に完成 ▲: 本計画の期間終了後に完成見込)														
計画の移行なし		○	0	△	3	-	0	備考		計画の移行あり	●	0	▲	2
3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況														
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 西遠浄化センターの分配導水渠バイパス工事及び馬込幹線2条管の計画的な整備を実施したことにより、持続的な下水道処理を確実に確保することができた。 狩野川西部浄化センターでは、汚水量の増加が見込めず水処理施設整備の増設は行わなかったが、既存施設による適切な汚水処理を実施し、生活環境及び公共用水域の水質を保全した。 												
II 定量的指標の達成状況		指標①(西遠流域下水道の下水道処理人口普及率の増加)	最終目標値	90.9%	目標値と実績値に差が出た要因	・浜松市における未普及区域での主要幹線と各家庭をつなぐ下水管整備に遅れが生じ、目標値が達成できなかった。								
			最終実績値	88.7%										
		指標②(狩野川流域下水道西部処理区の水処理施設整備率)	最終目標値	87.5%	目標値と実績値に差が出た要因	・狩野川流域下水道西部処理区内の市町における未普及区域での主要幹線と各家庭をつなぐ下水管整備に遅れが生じ、目標値が達成できなかった。								
			最終実績値	75.0%										
		指標③()	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因									
			最終実績値											
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 狩野川流域下水道で汚水を処理する過程で発生する下水汚泥について、平成31年度(令和元年度)実績で年間約18,800tが発生したが、その全てをセメントや堆肥の原材料として有効利用した。 												
4. 今後の方針等														
<ul style="list-style-type: none"> 西遠流域下水道は平成28年4月1日に浜松市へ移管し、現在は浜松市公共下水道として未普及区域の面整備促進及び計画的な処理施設改築更新等を実施しており、さらなる生活環境の改善と公共用水域の水質保全に努めている。 狩野川流域下水道の第3期整備計画(令和2年度~令和6年度)では、目標値を水処理施設整備率から下水道処理人口普及率に見直すことで、より定量的な指標に基づいた事業推進及びさらなる生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図っている。 														